

No.27	事業名 橋りょう長寿命化	2025 年度 予算額	336,108 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------------	------------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

道路法に基づき橋りょう定期点検を実施し、その点検結果をもとに長寿命化修繕計画を策定するとともに、補修設計、補修工事を計画的に行うことで、車両や歩行者交通の安全確保と橋梁長寿命化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

橋梁補修工事、橋梁補修設計、橋梁定期点検、修繕計画策定

(2) 事業期間

2009 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 財源及び補助率・負担率等

道路メンテナンス事業費補助金（57.75%）

公共事業等債（90%）

過疎対策事業債（100%）

辺地対策事業債（100%）

起点

終点



正法寺大橋

起点

終点



五荘大橋



上野橋

3 2025 年度予算

(1) 予算額

336,108 千円

(2) 事業内容

橋梁補修工事 正法寺大橋外 9 橋

橋梁定期点検 1 式

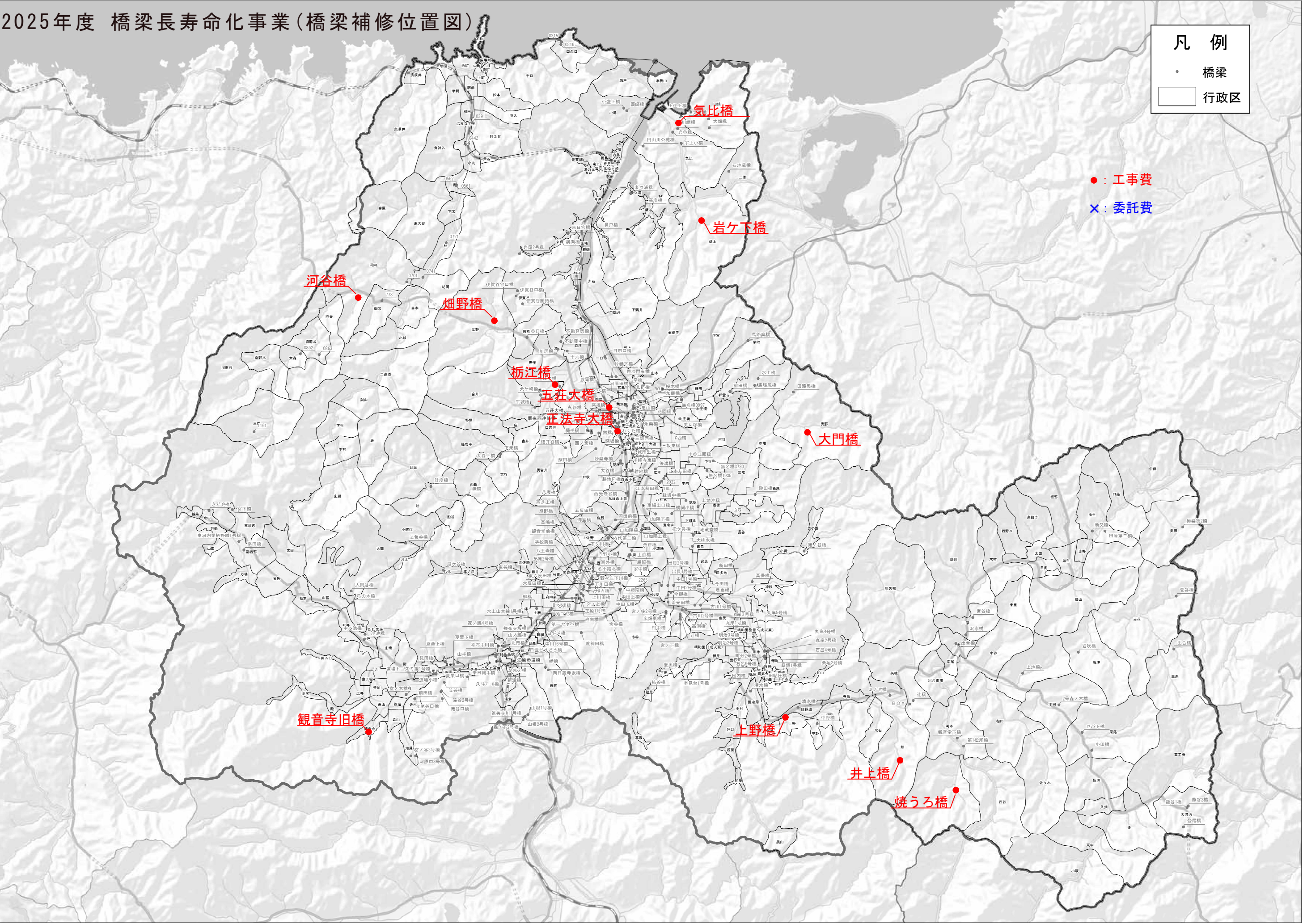
物件補償 河谷橋

資材単価特別調査 1 式

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-1

2025年度 橋梁長寿命化事業(橋梁補修位置図)



No.28	事業名	路線バス等へのキャッシュレス決済導入支援	2025 年度 予算額	18,716 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

(1) 利用者

- ア バス利用に対する不安感や煩わしさなどの心理的負担の解消
- イ 心理的負担の解消、利便性や満足度向上によるバス利用に対する意識の変化

(2) 交通事業者

- ア データ取得による利用実態の可視化
- イ 取得した定量的データに基づくバス交通ネットワークの検証と見直し
- ウ 現金管理業務の削減による事務負担の軽減と経費の低減、経営の効率化

(3) 豊岡市

- ア データ取得による利用実態の可視化
- イ 取得した定量的データに基づくバス交通ネットワークの検証と見直し
- ウ バス事業者との情報連携をデータ化することによる事務負担の軽減

2 2025 年度予算

(1) 予算額

18,716 千円

(2) 事業内容

キャッシュレス決済システムを導入する乗合バス事業者に対し、導入費の一部を支援する。

対象車両：路線バス、市街地循環バス「コバス」

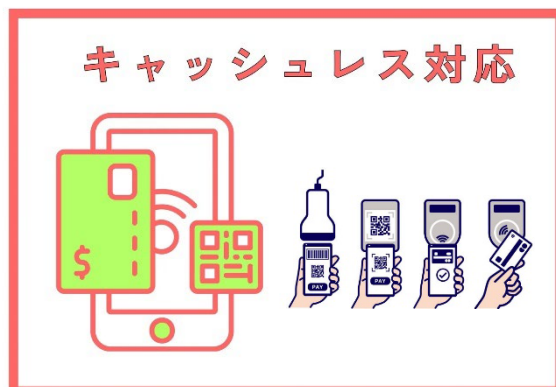
補助対象者：道路運送法第4条の許可により運行する乗合バス事業者

補助対象経費：キャッシュレス決済の新規導入に要する経費

補助率：補助事業の対象となる経費の6分の1以内で予算の範囲内

3 その他参考事項

県、但馬5市町で連携を図る。



担当課名【都市整備課】（内線 2481）

施策体系番号 3-2-4-4

No.29	事業名 中央公園の整備	2025 年度 予算額	129,300 千円	新規 拡大 <u>継続</u>
-------	-------------	-------------------	------------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

老朽化した旧市民体育館を解体・撤去し、公園施設の利便性、安全性の向上など、既存の公園機能を拡充する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

中央公園内に立地する老朽化した旧市民体育館を解体・撤去した後、公園で生じている利用者間の競合や、スケートボード場の老朽化および歩行者の安全確保などの課題を解決するため、バスケットボール場を体育館跡地へ移転し、3×3（スリーエックススリー）コートを2面に拡充するとともに、バスケットボール場跡地を多目的グラウンドとして整備する。

また、スケートボード場は、左岸の南側に移転し、歩行者導線から分離して安全を確保するとともに、滑走面・セクションの整備など機能の拡充を図る。

(2) 事業期間

2024 年度～2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

181,290 千円（合併特例債 95%）

3 2025 年度予算

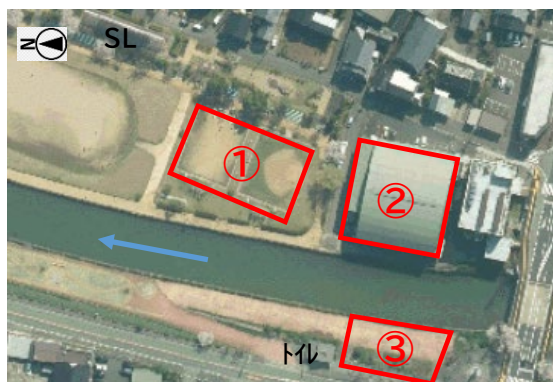
(1) 予算額

129,300 千円（合併特例債 95%）

(2) 事業内容

旧市民体育館解体及び中央公園整備（多目的広場、3×3コート、スケートボード場）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）



- ① 多目的広場
- ② 3×3コート2面
- ③ スケートボード広場

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

施策体系番号 3-2-6-1

No.30	事業名 住宅耐震改修促進補助	2025 年度 予算額	19,037 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本市の住宅耐震化率は74%で、昨年1月に発生した能登半島地震の被災地である能登半島地方と同様に低く、同規模の地震に見舞われた場合、甚大な被害が想定される。また、南海トラフ地震等の発生する可能性も高まってきており、耐震化率の向上が急務となっている。

このため、1981（昭和56年）5月31日以前の旧耐震基準で着工された住宅の耐震改修を進めるため、簡易耐震診断の無料実施及び同診断を前提とした耐震改修に対する補助を行う。



振動実験結果 出展：独立行政法人防災科学技術研究所

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 簡易耐震診断（個人負担なし）【交付金事業】

市が簡易耐震診断員を派遣して、住宅の調査・診断を行い、耐震性の評価を行う。

イ 豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金【交付金事業】

(ア) 全体補強型

地震に対して安全な構造となる耐震基準を満たす住宅に改修するための計画策定および改修工事に対して補助する。

- ・計画策定費補助（補助率 2/3 上限 20 万円）
- ・改修工事費補助（補助率 4/5 上限 120 万円）

(イ) 部分補強型

地震に対して瞬時には倒壊しない程度の耐震性を満たす住宅に改修するための計画策定及び改修工事に対して補助する。

- ・簡易耐震改修工事費補助（補助率 4/5 上限 50 万円）

(ウ) 防災ベッド等設置型

地震で住宅が倒壊しても、金属製のフレームなどで就寝スペースを守ってくれ

る防災ベッドを設置する工事に対して補助する。

- ・防災ベッド等設置費補助（定額補助 10 万円）

(エ) シェルター型

地震で住宅が倒壊しても、安全な空間を確保して命を守るためのシェルターを設置する工事に対して補助する。

- ・シェルター型工事費補助（10 万円以上 50 万円未満の場合は定額補助 10 万円、50 万円以上の場合は定額補助 50 万円）

(オ) 土葺瓦屋根軽量化

非常に重い土葺瓦屋根を軽い屋根材に変更する工事に対して補助する。

- ・土葺瓦屋根軽量化工事費補助（定額補助 50 万円）

(カ) 建替

耐震診断の結果、安全性が低いと診断された住宅を同一敷地内に建て替える工事に対して補助する。

- ・建替工事費補助（補助率 4/5 上限 100 万円）

ウ 豊岡市住宅耐震リフォーム等補助金【市単補助】

(ア) 居室等補強型

安全性が低いと診断された住宅の居間または寝室の、耐震改修のための壁補強ならびに同時に行うリフォーム工事に対して補助する。

- ・耐震リフォーム工事費補助【一般型】（補助率 1/6 上限 50 万円）
- ・耐震リフォーム工事費補助【特別型】（補助率 1/3 上限 60 万円）

(イ) 豊岡市住まいの耐震化促進事業加算型

豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金における、全体補強型、部分補強型または建替の補助金交付決定を受けた方に上乗せして補助する。

- ・リフォーム工事費補助（補助率 1/6 上限 30 万円）
- ・建替工事費補助（定額 50 万円）

(2) 事業期間

2024 年度～2028 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 2025 年度予算

(1) 予算額 19,037 千円

(2) 主な事業内容

ア 簡易耐震診断(80 戸)	2,520 千円
イ 豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金	6,400 千円
全体補強型(2 戸) 部分補強型(1 戸) 防災ベッド等設置型(1 戸)	
シェルター型(1 戸) 土葺瓦屋根軽量化(1 戸) 建替(2 戸)	
ウ 豊岡市住宅耐震リフォーム等補助金	10,000 千円
居室等補強型一般型(15 戸) 居室等補強型特別型(1 戸)	
豊岡市住まいの耐震化促進事業加算型耐震リフォーム(3 戸)	
豊岡市住まいの耐震化促進事業加算型建替(2 戸)	

担当課名【建築住宅課】（内線 2461）

施策体系番号 1-1-1-2

No.31	事業名 地籍調査事業	2025 年度 予算額	51,132 千円	新規 拡大 継続
-------	------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、あわせて地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。（国土調査法第1条）

2 全体の事業内容

(1) 内 容

土地一筆ごとに、所有者、地番及び地目を調査し、境界の確認及び面積の測量を行い、成果として地籍図及び地籍簿に取りまとめ、明確にする。

成果の写しを法務局に送付し、法務局が登記の変更をすることにより、①土地境界のトラブル防止、②土地取引の円滑化、③公共事業の早期完成、④山林の保全管理、⑤土砂災害や震災等の際の速やかな復旧、⑥土地課税の公正公平化に役立つ。

(2) 事業期間

2006 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 未定

負 担 率 県営事業 国 50%、県 50%

市営事業 国 50%、県 25%、市 25%



一筆地（現地立会）調査状況

3 2025 年度予算

(1) 予算額

51,132 千円

(2) 事業内容

【実施大字】 但東町西谷、出石町荒木、城崎町楽々浦、中陰（4大字）

【事業量】 調査図素図作成、図根三角測量 0.61k m²

一筆地（現地立会）調査、詳細測量 1.21k m²

地籍簿(案)・地籍図(案)作成、閲覧 0.24k m²

4 その他

- ・2025 年度末事業進捗率見込み 単年度 0.4%、累計 14.7%
- ・山林部にて、航空レーザ測量などの最新技術を活用したスマート地籍調査を試行する。

担当課名【地籍調査課】（内線 2381）

施策体系番号 3-2-1-3

【参考】「スマート地籍調査」とは

近年、山林部は、土地所有者の高齢化等による管理の低下により、荒廃が進んでおり、境界情報の保全が急務となっています。

航空レーザ測量などの最新技術を活用することで、机上で地形や植生を精密に確認でき、境界推定が可能となりました。

兵庫県が取得した航空レーザ測量成果を基に境界推定図を作成し、集会所などで机上立会をする新しい手法「スマート地籍調査」を試行します。

スマート地籍調査によって、土地所有者は現地立会の負担を省くことができ、熱中症や滑落、有害生物（ハチ・ヤマビル・マダニ等）の危険もなくなります。

地籍未調査の山



滑落、ハチなどの危険性



最新技術の活用



空中写真



境界推定図作成



- ・ 現地立会に行かない
- ・ 土地所有者の安全確保

机上立会



No.32 事業名 城崎振興局の取組み	2025 年度 予算額	186,924 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

城崎温泉の魅力を向上させる取組み、伝統工芸の「麦わら細工」の振興、城崎地域における公共施設の再編整備などを推進する。

さらに、2025 年は北但大震災から 100 年を迎える節目の年であり、関連事業への支援などを行う。

2 2025 年度予算

(1) 予算額 186,924 千円

(2) 事業内容

ア 城崎振興局プロジェクト

(ア) 北但大震災復興 100 年記念シンポジウム補助

事業内容：1925年 5 月 23 日に発生した北但大震災から 100 年の節目の 2025 年 5 月 23 日に開催されるシンポジウムの開催に対して支援する。

事業費：2,000 千円

事業主体：北但大震災復興 100 年記念プロジェクト実行委員会

(イ) 城崎温泉夢花火事業補助

事業内容：城崎温泉で夏休み期間中の平日（お盆期間を除く）に行われる花火打上げに対して支援する。

事業費：5,000 千円

事業主体：（一社）城崎温泉観光協会

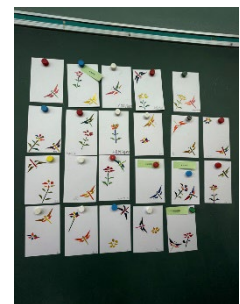


(ウ) 麦わら細工振興事業

事業内容：市内の児童を対象に、「麦わら細工」についての学習会と、製作体験を実施する。

事業費：255 千円

事業主体：豊岡市



(エ) 城崎・港未来づくり事業補助

事業内容：市民と共創する行政を目指し、城崎・港地域の地域課題や将来を見据えた取組みに対して支援する。

事業採択に際しては市民を含めた審査会にて審査する。

事業費：1,000 千円
事業主体：補助対象事業者

(カ) 若者会議事業

事業内容：若者会議メンバーが「地元を愛し、誇りを持ち、地元の魅力を再発見する」ための施策として、城崎温泉ふるさと祭りの中でイベントを実施する。

事業費：500 千円
事業主体：豊岡市

(キ) 観光地の災害対応あり方検討業務 新規

事業内容：城崎において、観光地での災害対応のあり方について、地元住民や観光関係者等と検討し整理を行う。

事業費：1,100 千円
事業主体：豊岡市

イ 城崎観光施設管理費

(ア) 城崎温泉交流センター解体工事 新規

事業内容：城崎地域の公共施設を集約することとし、「城崎温泉交流センター」を「城崎文芸館」と「城崎麦わら細工伝承館」を集約した施設に建て替えるため、現在の施設を解体する。

事業費：143,529 千円

〈解体工事〉	119,680 千円
〈解体監理業務〉	7,940 千円
〈周辺住宅調査〉	14,070 千円
〈その他事務費等〉	1,839 千円

財 源：過疎対策事業債（充当率 100%）

事業主体：豊岡市



(イ) 城崎温泉交流センター整備関連経費 新規

事業内容：城崎地域の公共施設を集約することとし、「城崎温泉交流センター」を「城崎文芸館」と「城崎麦わら細工伝承館」を集約した施設に建て替える。このため 2025 年度から「城崎温泉交流センター」の実施設設計業務等を行う。

事業費：33,540 千円

〈実施設計〉 29,810 千円

※【債務負担行為】 2026 年度 61,600 千円

〈測量業務〉 3,730 千円

財 源：過疎対策事業債（充当率 100%）

事業主体：豊岡市

担当課名【城崎振興局地域振興課】（内線 5002）

施策体系番号 6-1-1-2

No.33 事業名 竹野振興局の取組み	2025 年度 予算額	155,357 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

竹野地域の情報発信や地域の特色を活かした独自の事業を推進して、交流人口の拡大と地域振興を図る。

また、竹野庁舎機能の維持のための空調設備の改修とインバウンド及び多様な世代の観光対策として、観光トイレの洋式化等改修を行う。

更に、施設閉鎖となっている旧東大谷野外活動施設（通称：たけのこ村）の財産処分を行う。

2 2025 年度予算

(1) 予算額 155,357 千円

(2) 事業内容

ア 竹野振興局プロジェクト事業

(ア) たけの海上花火大会事業

事業内容：竹野地域の知名度及び地域経済活性化の向上に寄与されるたけの海上花火大会への支援を行う。

事業主体：竹野町海上花火大会実行委員会

事業費：4,000 千円



(イ) 竹野焼杉板景観保全事業

事業内容：竹野駅から竹野浜間を対象地域として、家屋の外壁に焼杉板を使用することに対する経費の一部補助（材料費の1/3、上限20万円）を行う。

事業主体：豊岡市

事業費：600 千円



(ウ) 地域情報発信事業

事業内容：マスコミ及び移住者イベントを活用して、効果的に竹野の地域情報や観光情報を発信し、竹野の認知度向上及び定住者の増加を図る。

事業主体：豊岡市

事業費：190 千円

イ 庁舎管理費

竹野庁舎空調設備改修工事・監理業務 新規

事業内容：竹野庁舎の省エネ化及び脱炭素の推進を図るため、空調設備をより高効率な機器へ更新する。

事業主体：豊岡市

事業費：100,522 千円

財 源：脱炭素化推進事業債（充当率90%）
過疎対策事業債（充当率100%）

ウ 観光管理費

竹野観光トイレ改修工事・監理業務 新規

事業内容：インバウンド及び多様な世代の観光対策として、中央及び弁天浜の観光トイレ2ヵ所の洋式化、LED化等改修を行う。

事業主体：豊岡市

事業費：24,065 千円

財 源：国立公園等資源整備事業補助（補助率 1/2）
過疎対策事業債（充当率 100%）

エ 財産管理費

旧東大谷野外活動施設廃止関連業務 新規

事業内容：2022 年度末で施設閉鎖となった旧東大谷野外活動施設（通称：たけのこ村）における今後の利活用がない施設等の撤去等財産処分を行う。

事業主体：豊岡市

事業費：25,980 千円



担当課名【竹野振興局地域振興課】（内線 5210）

施策体系番号 6-1-1-3

No.34 事業名 日高振興局の取組み	2025 年度 予算額	520,406 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高で暮らす若者の増加を目指し、観光事業等による地域の活性化、協働のまちづくりや日々人生を楽しむまちづくりの推進、移住・定住の促進、交流人口の拡大を図る。
また、庁舎を適切に維持するため、日高庁舎の改修を行う。

2 2025 年度予算

(1) 予算額 520,406 千円

(2) 事業内容

ア 日高振興局プロジェクト事業

(ア) 日高地域づくり運営事業

事業内容：若者や子育てグループ等のまちづくりに対する提言を振興局プロジェクトに反映させるなど協働のまちづくりを推進する。

事業費：100千円

(イ) 日高地域の先輩に学ぶ授業

事業内容：日高地域で仕事などを頑張っている人が先生となって、中学生（日高東・西中学校）に対して体験談や考え方を伝える授業を実施する。

事業費：60千円

イ 観光事業

(ア) 道の駅「神鍋高原」改修整備事業

事業内容：道の駅の長寿命化と機能強化を図る改修工事を行う。

事業費：207,024千円

財源（充当率）：辺地対策事業債（100%）



(イ) 湯の原温泉オートキャンプ場民営化事業

事業内容：土地、建物の不動産鑑定評価を行い、施設民営化に向けた条件を整理する。

事業費：2,495千円

(ウ) 日高夏まつり事業

事業内容：日高夏まつり事業について補助支援する。

事業費：1,000千円

ウ 飲食材供給施設民営化事業 **新規**

事業内容：建物の不動産鑑定評価を行い、施設民営化に向けた条件を整理する。

事業費：365千円

エ 日高庁舎改修工事 **新規**

事業内容：日高庁舎について、脱炭素とユニバーサルデザインに配慮した老朽化対策工事を行い、コスト縮減と利便性向上を図る。

事業費：241,758千円

財源（充当率）：脱炭素化推進事業債、公共施設等適正管理推進事業債（90%）

オ 植村直己顕彰事業

日高が生んだ世界的な冒険家 植村直己の「挑戦する心」を伝承し、未来を担う子どもたちや、夢に向かって努力する人々の「挑戦」を応援する取組みを実施する。

(ア) 植村直己冒険賞を核とする顕彰事業の実施

事業費：8,580千円



2023「植村直己冒険賞」受賞者の山田高司さん・高野秀行さんペアと田中彰さん・大西良治さんペア

(イ) 植村直己冒険館の維持管理運営

事業費：59,024千円



担当課名【日高振興局地域振興課】（内線 5402）

施策体系番号 6-1-1-4、3-1-2-2、3-1-2-3、3-1-3-2、7、5-1-2-1

No.35 事業名 出石振興局の取組み	2025 年度 予算額	3,354 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

観光地としての魅力向上と誘客促進を図るため、出石お城まつりへの支援を行うとともに、重要な観光資源、指定文化財である出石城の石垣除草による景観保全、地域住民による歴史的資源を活用したまちづくり活動の支援により、住民が地域を誇りに思い、守っていく意識を醸成する。

2 2025 年度予算

(1) 予算額 3,354 千円

(2) 事業内容

ア 出石振興局プロジェクト

(ア) 出石お城まつり補助事業

事業内容：観光誘客と地域活性化、槍振りの後継者育成を目的として開催される第53回出石お城まつりの開催経費を補助する。

事業費：2,500 千円

事業主体：出石お城まつり実行委員会

(イ) 出石城石垣除草事業

事業内容：出石地域の重要な観光資源である出石城の景観保全と重要な指定文化財である出石城石垣の除草を行う。

事業費：302 千円

事業主体：豊岡市

(ウ) 出石の歴史活用応援事業

事業内容：出石地域の住民団体による歴史的資源を活用したまちづくり活動の立ち上げに要する経費の一部を補助する。

事業費：552 千円

事業主体：豊岡市



出石お城まつり 槍振り



出石城



商工会青年部による登城橋周辺
ライトアップ

担当課名【出石振興局地域振興課】（内線 5607）

施策体系番号 5-1-2-2, 6-1-1-5

No.36 事業名 但東振興局の取組み	2025 年度 予算額	29,010 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

但東地域では、「人口が少なくても、住み続けられる」を目的に、地域に関わる人を増やすため、「地域のことがジブンゴトになっている」「交流人口が増えている」など、但東地域で暮らす魅力を高めていくための取組みを行う。

2 2025 年度予算

(1) 予算額 29,010 千円

(2) 事業内容

ア 但東振興局プロジェクト事業

(ア) 地域との協働による空き家利活用促進

事業内容：空き家を利活用して交流人口を増やすとともに、若い世代の移住定住を促進する。資母・合橋・高橋地区コミュニティ組織が調査している“空き家情報”について、利活用を活発化させるための具体的な方法を定める。

事業費：260 千円

事業主体：豊岡市



(イ) 若者会議（TANTO ミーティング）

事業内容：地域課題に関わる若者を増やすため、共通の趣味やテーマをもとに集まり“まちの未来や希望”も語り合える場を創出する。

事業費：230 千円

事業主体：豊岡市

(ウ) 集落支援員設置事業 新規

事業内容：移住者の目線を活かしたまちづくりを行い、「空き家対策」「移住促進」を中心に、但東地域の魅力を積極的に発信するため、集落支援員 1 名を設置する。

事業費：4,850 千円

事業主体：豊岡市

イ 但東観光施設管理

事業内容：たんとうチューリップまつり開催事業費補助

事業費：2,000 千円（対象経費の 1/2 以内：上限 2,000 千円）

事業主体：たんとうチューリップまつり実行委員会



ウ 但東シルク温泉やまびこ管理

事業内容：地域振興の拠点施設である但東シルク温泉やまびこの安定的な稼働・運営と利用者の利便性向上のため長寿命化の実施設計を行う。

事業費：19,250 千円

財源：過疎対策事業債（充当率 100%）

事業主体：豊岡市

エ たんたん温泉福寿の湯管理費

事業内容：経年劣化によるサウナ室について、保温性を担保するため修繕を実施する。

事業費：1,518 千円

事業主体：豊岡市

オ 日本・モンゴル民族博物館管理費

事業内容：2024 年度に引き続き住民によるワークショップを行い、今後の利活用について意見を集約し、検討を行う。

事業費：902 千円

事業主体：豊岡市



担当課名【但東振興局地域振興課】（内線 5806）

施策体系番号 6-1-1-6

No.37	事業名 豊岡消防署出石分署の改修	2025 年度 予算額	104,680 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------------	------------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市公共施設個別計画において、長寿命化を図る施設として位置付けている出石分署の改修を行い、老朽化している建物の耐久性を改善し、持続可能な消防サービスを提供する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

公共施設個別計画に基づく長寿命化を図るための改修。実施設計、アスベスト調査分析、内外部の改修、空調・照明器具等の設備の改修を行う。

(2) 事業期間

2024 年度～2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

109,880 千円

3 2025 年度予算

(1) 予算額

104,680 千円

緊急防災・減債事業債 100%：30,200 千円

公共施設整備基金：74,000 千円

(2) 事業内容

庁舎改修工事（1984 年 9 月竣工：40 年経過）

ア 外部（屋根、外壁）改修

イ 内部（1 階車庫、浴室、仮眠室（個室化）及び 2 階事務室、食堂、倉庫、便所）改修

ウ 空調・照明器具等の設備改修



（全景）



（屋根）



（外壁）

担当課名【消防本部総務課】（内線 3804）

施策体系番号 1-1-2-1

No.38	事業名	義務教育学校 「竹野学園」の整備	2025 年度 予算額	747,331 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」に基づき、竹野小学校と竹野中学校を豊岡市で初めての義務教育学校となる「竹野学園」に再編し、2025 年 4 月に開校する。これにより、現在すすめている小中一貫教育をより一層実効性のあるものとする事が出来るほか、地域独自の特色ある教育が可能となるなど、様々な教育効果が期待できる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

竹野中学校の敷地内に竹野小学校の機能を移転し、義務教育学校「竹野学園」を設置する。既存の竹野中学校の校舎を最大限利用し、不足する教室については南側のグラウンドに増築して、既存校舎と接続する。

(2) 事業期間

2023 年度～2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,453,753 千円

ア 実施設計 42,617 千円（2023 年度 過疎債：充当率 100%）

イ 整備工事 1,385,139 千円

（2024～2025 年度 公立学校施設整備負担金：補助率 5.5/10、学校施設環境改善交付金：補助率 5.5/10、過疎債：充当率 100%）

ウ 施工監理 21,058 千円（2024～2025 年度 過疎債：充当率 100%）

エ 備品購入 4,939 千円（2025 年度）

3 2025 年度予算

(1) 予算額

747,331 千円

(2) 事業内容

ア 既存中学校棟改修工事	285,174 千円
イ 低学年棟増築工事	385,053 千円
ウ 体育館空調設置工事	16,982 千円
エ その他外構等工事	44,065 千円
オ 施工監理業務	11,118 千円
カ 備品購入	4,939 千円



担当課名【教育総務課】（内線 2701）

施策体系番号 4-1-3-1

No.39	事業名	学校現場における ICT の積極的な活用	2025 年度 予算額	128,236 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

時代のニーズに応じた ICT 環境の整備を図り、学校現場における ICT の積極的な活用を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア GIGA スクール構想を推進するため、第 1 期（2020 年度）に購入した小中学校の学習用端末を、国県の補助事業を活用して更新する。

イ 全小・中学校に学習支援ソフトを導入することで、児童・生徒が自分の意見や思考の流れを可視化して説明したり、お互いの意見や考えを瞬時に共有するなど、個別最適な学びと協働的な学びを促進する。

ウ 採点支援ソフト（答案用紙を画像化して取り込み、デジタル端末を使って自動採点するソフト）を導入し、テストの採点や集計に伴う教職員の負担を軽減し、超過勤務の縮減を図る。

(2) 事業期間

2025 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

ア 329,725 千円（2025～2026 年度）

（公立学校情報機器整備事業費補助金：補助率 2/3）

イ・ウ 6,906 千円／年（2025 年度～）



3 2025 年度予算

(1) 予算額

ア 121,330 千円【債務負担行為／2026 年度：206,250 千円】

イ・ウ 6,906 千円

(2) 事業内容

ア 中学校の学習用端末更新 121,330 千円
（タブレット端末 2,179 台の更新及び付属品の購入）

イ 小学校・中学校への学習支援ソフト導入 5,366 千円

ウ 中学校への採点支援ソフト導入 1,540 千円

担当課名【教育総務課・学校教育課】（内線 2701・2721）

施策体系番号 4-1-3-2

No.40	事業名	三江小学校の長寿命化改修	2025 年度 予算額	482,852 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------	-------------------	------------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

老朽化した学校施設について、「豊岡市学校施設個別施設計画」に基づき、計画的な機能回復及び時代のニーズに応じた機能向上を図り、安全で質の高い教育環境を整備する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

三江小学校の校舎は、普通教室棟が築 41 年（S58 年 3 月建築）、特別教室棟が築 36 年（S63 年 3 月建築）経過しており、屋根や外壁、内装など広範囲にわたって老朽化がみられる。そのため、長寿命化改修工事を実施することで施設を健全な状態に保つ。

(2) 事業期間

2022 年度～2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

585,627 千円

ア	基本設計	18,633 千円（2022 年度）
イ	実施設計	13,970 千円（2023 年度 公適債：充当率 90%）
ウ	普通教室棟改修工事	418,571 千円（2025 年度）
エ	特別教室棟改修工事	119,530 千円（2024～2025 年度）
オ	施工監理	12,232 千円（2024～2025 年度）
（ウ～オ 学校施設環境改善交付金：補助率 1/3、学教債：充当率 75%、公適債：充当率 90%）		
カ	その他（物品移転等）	2,691 千円（2025 年度）

3 2025 年度予算

(1) 予算額

482,852 千円

(2) 事業内容

ア	普通教室棟改修工事	418,571 千円
イ	特別教室棟改修工事	51,690 千円
ウ	施工監理業務	9,900 千円
エ	物品移転業務	2,691 千円



担当課名【教育総務課】（内線 2701）

施策体系番号 4-1-3-1

No.41	事業名	学校プールの外部施設利用 の拡大	2025 年度 予算額	17,753 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

近年の猛暑により、屋外プールを使用している小学校では、水泳の授業を中止しなければならないことが多くなっている。このため、2024 年度から自校整備方式を改め、順次、公設・民間のプール利用へ移行することにより、計画的な授業実施を図る。

また、外部指導員による専門的な水泳指導を実現するとともに、学校プールの維持管理費用や、今後予想される施設老朽化による大規模改修等のコスト削減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内容

小学校のプールについて、自校整備方式を改め、民間事業者等と調整を図りながら順次、外部利用に移行する。なお、2024 年度の実施対象校を 8 校としていたが、2025 年度は 10 校に拡大する。

(2) 事業期間

2024 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2025 年度予算

(1) 予算額

17,753 千円（内訳）業務委託料 13,221 千円
自動車借上げ料 4,532 千円



外部施設プールでの水泳授業の様子

(2) 事業内容

2025 年度、市内 10 校において、民間等のプール利用・指導により水泳授業を行う。

【実施対象予定校】

豊岡小学校、田鶴野小学校、中筋小学校（※ 1）、港小学校（※ 2）、神美小学校、城崎小学校、府中小学校、八代小学校、福住小学校、合橋小学校（※ 1）

※ 1 2025 年度から新規実施予定校（2 校）

※ 2 外部指導員による水泳指導を自校において実施

4 2024 年度の実施にかかる効果検証

(1) アンケート結果（児童対象 ～一部抜粋～）

「プールのコーチの指導がわかりやすく泳げるようになった。これまで苦手だった水泳が好きになった。」、「プールがすごくきれいで気持ちよかった。」など。

(2) アンケート結果（教員対象 ～一部抜粋～）

「水質管理のため、休日に消毒剤を入れるために出勤することがなくなった。」、「水温や気温に左右されず指導できることはありがたい。」など。

(3) 費用比較

対象 8 校が自校で水泳授業を行った場合の必要経費	事業実施額
13,329 千円（修繕、光熱水費、点検等）	9,934 千円（見込み）

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

施策体系番号 4-1-3-2

No.42	事業名 図書館の長寿命化	2025 年度 予算額	177,809 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市立図書館本館は1998年（平成10年）に竣工し、築26年が経過しており、屋根や外壁、内装、設備など広範囲にわたり老朽化がみられる。施設全体を健全な状態に保ち、利用者が安心して過ごせる場とするため、老朽箇所の修繕、設備等改修のための整備工事を実施し、施設の長寿命化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 実施設計業務、補修工事（2024年度）
- イ 整備工事（2025年度）

(2) 事業期間

2024年度～2025年度

(3) 事業主体

豊岡市



(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

189,433千円（公共施設等適正管理推進事業債90%）

2024年度 実施設計業務、補修工事 11,624千円

2025年度 整備工事、施工監理 177,809千円

3 2025年度予算

(1) 予算額

177,809千円

（内訳）整備工事費 172,749千円、施工監理 5,060千円

(2) 事業内容

屋根、外壁等の修繕、床カーペット・壁クロス貼替、照明LED化、トイレ改修（便器の洋式化、自動水栓化、床の乾式化）、空調機器更新ほか

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

工事期間中に1か月程度休館する予定（2026（令和8）年2～3月頃）

担当課名【社会教育課】（内線2751）

施策体系番号5-1-1-2

No.43	事業名	市長選挙及び市議会議員補欠選挙、市議会議員選挙の執行	2025 年度 予算額	174,538 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

任期満了に伴う市長選挙及び欠員に伴う市議会議員補欠選挙を執行する（4月）。
任期満了に伴う市議会議員選挙を執行する（10月）。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

任期満了に伴う市長選挙及び欠員に伴う市議会議員補欠選挙並びに任期満了に伴う市議会議員選挙の執行に係る投票管理者及び投票立会人等の報酬、ポスター掲示場の設置、各種事務手続き、会場借上げ、選挙公営、消耗品の購入等

(2) 事業期間

2024 年度～2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市



3 2025 年度予算

(1) 予算額

174,538 千円

(2) 事業内容

ア 報酬（投票管理者及び投票立会人等の報酬）	9,906 千円
イ 報償費（投票箱送致謝礼等）	830 千円
ウ 需用費（ポスター掲示場設置費等）	61,843 千円
エ 役務費（入場整理券郵送料等）	10,706 千円
オ 委託料（入場整理券作成委託料等）	7,804 千円
カ 使用料及び賃借料（会場借上料等）	3,586 千円
キ 人件費（投開票事務等職員手当）	35,832 千円
ク 負担金、補助及び交付金（選挙公営）	44,031 千円

4 任期満了日

市長任期満了日：2025 年 4 月 30 日

市議会議員任期満了日：2025 年 10 月 31 日

担当課名【選挙管理委員会事務局・監査委員事務局】（内線 2801）

施策体系番号 7-0-0-0

No.44	事業名	【介護保険事業特別会計】 地域包括支援センター直営化	2025 年度 予算額	40,016 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市社会福祉協議会の人材不足により、2025 年度から港地区を除く豊岡圏域の地域包括支援センターを市直営とすることとなった。市直営化することで、介護予防事業の推進を図るとともに、4つの機能（「総合相談支援」、「介護予防マネジメント」、「権利擁護」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」）と共に、地域のさまざまな個人・機関をつなぐネットワークを構築し、「地域包括ケアシステム」の更なる深化を目指す。

2 2025 年度予算

(1) 内 容

ア 総合相談支援

高齢者やその家族がさまざまな問題（介護、福祉、医療、生活など）について相談を受け付け、必要な情報の提供や支援を行う。

イ 介護予防ケアマネジメント

要支援認定を受けた人や、介護が必要になる可能性がある人に対して、介護予防計画の作成や適切なサービスの利用支援や、自立した生活のための能力維持と向上を支援し、在宅生活をサポートする。

ウ 権利擁護

高齢者の権利を守るため、被害の防止、消費者被害の防止、成年後見制度の利用支援などを行う。

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域のケアマネジャー（介護支援専門員）への指導・支援を行い、医療・福祉・介護などの関係機関と連携しながら、切れ目のない支援体を構築する。

(2) 事業期間

2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 予算額

40,016 千円

（国・県 57.75%、介護保険料 23.0%、市 19.25%）



相談援助の様子

担当課名【高年介護課】（内線 3071）

施策体系番号 1-2-5-1

No.45	事業名	こども計画の推進（関連事業）※重複有り	2025 年度 予算額	401,708 (重複有り) 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------------	----------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2025 年度からスタートする豊岡市こども計画を推進するにあたり、新年度予算のこども・子育て関連事業のうち、主な新規・拡大する事業を、豊岡市こども計画の戦略体系図に沿って挙げる。

2 主な事業（新規・拡大）

(1) 主要手段 1「こどもの多様性が尊重され、自己肯定感を持って自分らしく暮らしている」

ア こども支援センターの体制強化【こども支援課】608 千円 拡大
不登校支援の「ふれあいルーム」の利用者増に対応するため、補助員を増員する。

イ 全国高校総体を開催【文化・スポーツ振興課】1,545 千円 新規
2026 年に全国高等学校総合体育大会の登山競技（養父市と共同）とカヌー競技を市内で開催する。併せて、ジオパーク、海・山という安全な大自然を有したまち「豊岡市」を全国にアピールする。なお、2025 年度は受入れ準備を行う。

ウ 中央公園の整備（再掲 No. 29）【都市整備課】129,300 千円 拡大
老朽化した旧市民体育館を解体・撤去し、公園施設の利便性、安全性の向上を図るとともに、既存の公園機能を拡充する。3×3 コート、スケートボード場、多目的グラウンドを整備する。

エ フリースクール利用者の支援【学校教育課】2,400 千円 新規
不登校児童生徒の社会的自立に向けた自由な学びや社会とのつながりを支援するため、フリースクール等の民間施設を利用する児童生徒の保護者に対して、利用経費の一部を助成する。

オ 学習支援ソフトの導入（一部再掲 No. 39）【学校教育課】5,366 千円 新規
学習支援ソフトを導入し、学びの多様化と質の向上を図る。

(2) 主要手段 2「安心して妊娠・出産ができている」

ア 妊婦健康診査費助成額の拡大【こども未来課】39,200 千円 拡大
上限額を 88,000 円から 112,000 円へ引き上げる。
現在、初回 23,000 円+5,000 円×13 回のところ、初回 23,000 円+5,000 円×7 回+9,000 円×6 回とする。

イ 多胎妊婦の健康診査費助成制度の創設【こども未来課】125 千円 新規
多胎妊婦は単胎妊婦に比べ健診回数の追加が必要であるため、助成対象回数を 5 回分（5,000 円×5 回）追加する制度を創設する。※アに追加。

ウ 低所得妊婦の初回産科受診料助成制度の創設【こども未来課】50 千円 **新規**
経済的負担の軽減を図るとともに、状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため、初回の産科受診料を助成する制度（上限 10,000 円）を創設する。

エ 1 か月児健康診査費助成制度の創設【こども未来課】1,755 千円 **新規**
1 か月児の健康診査費を助成する制度（上限 4,500 円）を創設する。

(3) 主要手段3「安心して子育てができています」

ア 子どもの医療費助成制度の拡充(再掲 No. 8)【国保・年金課】220,737 千円 **拡大**
児童（小学4年生から中学3年生まで）の外来受診について、従来は非課税世帯のみ無料としていたものを、市民税所得割 120 千円未満の世帯までとし、市民税所得割 120 千円以上 235 千円未満の世帯は1 か月 1 医療機関につき自己負担限度額を月額 300 円とする。
また、高校生等の入院療養に対する助成制度を創設する。

イ 豊岡市こどもセンター機能の設置【こども支援課】474 千円 **新規**
2025 年 4 月に豊岡市こどもセンターの開設に伴い、統括支援員と家庭支援コーディネーターを配置し、こどもや子育て家庭に対する相談支援体制を強化する。

ウ こども・子育て支援施策の情報発信【こども未来課】148 千円 **新規**
妊娠から幼児期までの子育て支援サービスが俯瞰してわかるリーフレットや、居場所マップを作成する。



担当課名【こども未来課】（内線 2571）

施策体系番号 4-1-1-4